

インフルエンザ患者報告数が警報レベルを超えました!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗2,570	2,153	百日咳	↘0	1
RSウイルス感染症	↘52	64	ヘルパンギーナ	↘0	4
咽頭結核熱	↘27	35	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗72	58
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘54	144	急性出血性結膜炎	→0	0
感染性胃腸炎	↘595	712	流行性角結膜炎(はやり目)	↗28	21
水痘	↘11	16	細菌性髄膜炎	→0	0
手足口病	↗5	1	無菌性髄膜炎	↗4	3
伝染性紅斑(りんご病)	↘81	84	マイコプラズマ肺炎	↗4	2
突発性発しん	↗32	22	クラミジア肺炎	→0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗15	11

報告が多い  
感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- 伝染性紅斑

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

- インフルエンザ : 菊池、八代、宇城、有明、山鹿、人吉
- 感染性胃腸炎 : 菊池、山鹿、有明、八代
- 伝染性紅斑 : 菊池、山鹿、人吉、熊本市、水俣、天草、宇城
- 流行性耳下腺炎 : 菊池、有明

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結核熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	731	9	5	27	131	3	1	31	12			11		26		3	4		14
山鹿保健所	107	1			45			5	2			3	*	*					
菊池保健所	394	10	7	9	124	4	3	16	6			25		1					
阿蘇保健所	57				6								*	*					
御船保健所	75	3			27			4				1	*	*					
八代保健所	300	2	1	3	51	2		2				3							
水俣保健所	78	9	2	1	11			3	1				*	*					
人吉保健所	178	5		1	30	1		7				5	*	*		1			
有明保健所	288	2	11	1	78			4	5			19		1					1
宇城保健所	236	7		5	53	1		4	2			4	*	*					
天草保健所	126	4	1	7	39		1	5	4			1							
計	2,570	52	27	54	595	11	5	81	32	0	0	72	0	28	0	4	4	0	15

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	2570	10	46	120	136	146	199	261	190	164	139	113	335	67	83	206	155	84	59	32	25	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	52	9	16	25	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0							
咽頭結核熱	27	0	3	11	4	1	2	2	2	1	1	0	0	0	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	0	0	0	1	6	6	12	6	4	4	3	10	0	2							
感染性胃腸炎	595	6	35	125	69	54	47	32	34	32	17	28	61	11	44							
水痘	11	0	0	2	3	0	1	1	1	0	2	0	1	0	0							
手足口病	5	1	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0							
伝染性紅斑	81	0	1	2	6	5	12	11	19	10	9	3	2	0	1							
突発性発しん	32	0	12	17	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
流行性耳下腺炎	72	0	0	5	5	13	17	15	5	2	3	2	4	0	1							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	28	1	1	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	6	7	3	3	1	1	0	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	4	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1					
マイコプラズマ肺炎	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	15	1	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

インフルエンザ患者報告数が警報レベルを超えました!

2月8日~2月14日の県内のインフルエンザの報告数は、2,570件となって警報レベルを超えました。前週2月1日~2月7日の2,153件に比べ、報告数は約1.2倍に増加し、11週連続で報告数は増加しています。

保健所別では、菊池、八代、宇城、有明、山鹿、人吉地域が警報レベルを超え、熊本市、水俣、阿蘇、天草、御船地域が注意報レベルを超えています。今後も警戒が必要です。



インフルエンザの予防方法

1. 時間をかけた丁寧な手洗い  
流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを洗い流す効果があるといわれています。ただし、洗いやすすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗きましょう。さらに、手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。

2. 咳エチケット  
咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみができる時は、できるだけマスクをつけましょう。特に、手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いといわれています。

※熊本県のホームページ  
「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう」  
[http://www.pref.kumamoto.jp/kiji\\_13799.html](http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_13799.html)

